



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営戦略部担当 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,455	△15.7	7,496	△13.5	7,640	△14.5	5,601	△10.7
2020年3月期第2四半期	29,010	13.4	8,662	9.4	8,937	8.8	6,271	7.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 6,485百万円( 5.0%) 2020年3月期第2四半期 6,175百万円( 2.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	136.96	—
2020年3月期第2四半期	153.28	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	95,998	78,335	81.6
2020年3月期	94,019	74,692	79.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 78,335百万円 2020年3月期 74,692百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△8.8	10,000	△37.9	10,300	△37.4	7,000	△38.8	171.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	42,000,000株	2020年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,101,153株	2020年3月期	1,105,990株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	40,896,292株	2020年3月期2Q	40,915,605株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図るとともに、海外事業に引き続き注力しました。また、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指すため、映像製作・販売事業にも積極的に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による劇場作品の公開延期、テレビアニメの新作話放送休止、商品販売店舗の営業自粛、イベント・催事の延期・中止等があり、売上にも大きく影響しました。

一方、劇場作品の公開本数並びにテレビ作品の納品本数が減少したため、売上原価は低下しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、244億55百万円（前年同期比15.7%減）、利益については、営業利益は74億96百万円（同13.5%減）、経常利益は76億40百万円（同14.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億1百万円（同10.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益及び営業損失ベースの数値であります。

#### ① 映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、7月に映画「人体のサバイバル!」、8月に「東映まんがまつり」を公開しました。前年同期にヒットした劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」の反動減があったことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、「映画プリキュアミラクルリブ」（当初2020年3月20日公開予定）と「魔女見習いをさがして」（当初2020年5月15日公開予定）が公開延期となったことにより、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「ヒーリングっど♥プリキュア」、「デジモンアドベンチャー:」、「おしりたんてい」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」の5作品を放映しました。前年同期好調に稼働したゲーム向け音声製作や催事イベント向け映像製作の反動減に加え、新型コロナウイルスへの感染対策により、新作話の納品数が減少したため、大幅な減収となりました。

コンテンツ部門では、劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」のブルーレイ・DVDが好調に稼働したことから、増収となりました。

海外映像部門では、サウジアラビア向け劇場作品の納品に加え、「ドラゴンボール超 ブロリー」の劇場上乗権販売が北米で好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、前年同期好調に稼働した国内での映像配信権販売の反動減や、アプリゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシースピリッツ』のサービス終了により、大幅な減収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、収益性の高い海外映像の売上が増加したことや、劇場作品の公開本数並びにテレビ作品の納品本数の減少による売上原価の低下等により、売上高は95億2百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益は25億78百万円（同16.9%増）と減収増益となりました。

#### ② 版權事業

国内版權部門では、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が、好調だった前年同期の勢いには至らなかったことや、前年同期好調に稼働した劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」の劇場公開に向けたタイアップ・キャンペーン向け許諾や遊技機契約の反動減等により、大幅な減収となりました。

海外版權部門では、アプリゲーム『ドラゴンボール レジェンズ』や家庭用ゲーム『ドラゴンボールZ KAKAROT』に加え、「スラムダンク」のアプリゲームが好調に稼働したものの、前年同期好調であったアプリゲームの契約更新や新規許諾の反動減等から、減収となりました。

この結果、版權事業全体では、売上高は138億11百万円（前年同期比14.4%減）、セグメント利益は67億48百万円（同14.4%減）と大幅な減収減益となりました。

#### ③ 商品販売事業

商品販売部門では、前年同期好調に稼働した、劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」の劇場公開に向けたタイアップ・キャンペーン向けノベルティグッズ等の販売の反動減に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で商品販売店舗の営業自粛を行ったこと等から、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は9億46百万円（前年同期比60.3%減）、セグメント損失は1億63百万円（前年同期は、12百万円のセグメント利益）と大幅な減収減益となりました。

#### ④ その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。新型コロナウイルスの感染拡大によるイベント・催事の延期・中止等の影響から、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は2億29百万円（前年同期比48.8%減）、セグメント損失は72百万円（前年同期は、3百万円のセグメント利益）と大幅な減収減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2020年5月14日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様の利益確保を重要な経営目標の一つと考えており、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーになるべく製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会に積極的に投資いたします。

配当については、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,984	39,213
受取手形及び売掛金	10,622	11,542
有価証券	28	29
商品及び製品	331	816
仕掛品	5,414	5,970
原材料及び貯蔵品	90	85
その他	3,688	3,701
貸倒引当金	△77	△82
流動資産合計	60,081	61,276
固定資産		
有形固定資産	8,935	8,738
無形固定資産	454	534
投資その他の資産		
投資有価証券	12,258	13,651
その他	12,325	11,834
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	24,547	25,449
固定資産合計	33,937	34,721
資産合計	94,019	95,998
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,663	9,764
未払法人税等	2,798	2,056
賞与引当金	411	454
その他	3,828	2,864
流動負債合計	16,701	15,141
固定負債		
役員株式給付引当金	49	44
退職給付に係る負債	2,086	2,126
その他	488	350
固定負債合計	2,624	2,521
負債合計	19,326	17,662
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	68,087	70,823
自己株式	△694	△671
株主資本合計	73,669	76,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,365	2,446
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△340	△539
その他の包括利益累計額合計	1,023	1,906
純資産合計	74,692	78,335
負債純資産合計	94,019	95,998

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	29,010	24,455
売上原価	16,825	13,369
売上総利益	12,185	11,086
販売費及び一般管理費	3,522	3,589
営業利益	8,662	7,496
営業外収益		
受取利息	70	41
受取配当金	175	180
持分法による投資利益	27	—
その他	57	109
営業外収益合計	330	331
営業外費用		
支払利息	9	21
持分法による投資損失	—	48
投資事業組合運用損	—	99
デリバティブ評価損	15	—
為替差損	29	—
その他	0	18
営業外費用合計	55	187
経常利益	8,937	7,640
特別損失		
投資有価証券評価損	22	—
特別損失合計	22	—
税金等調整前四半期純利益	8,914	7,640
法人税、住民税及び事業税	2,651	2,023
法人税等調整額	△8	15
法人税等合計	2,643	2,039
四半期純利益	6,271	5,601
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,271	5,601

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,271	5,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	1,060
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△238	△198
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	19
その他の包括利益合計	△96	883
四半期包括利益	6,175	6,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,175	6,485
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。